

## 2021年度

### 学校関係者評価報告書

#### ○本校の取り組み

本年度も自己点検・自己評価を60項目4段階の評価として、比較できるように実施した。

「国際交流」に関しては評価該当外としたので単純に前年度と比較できかねるが、前年度と比較して全項目平均が0.2ポイント上昇した。

コロナ禍の状況のもと教育時期や教育方法の変更を余儀なくされたが、概ね教育計画通りに進めることができた。

卒業生77名を輩出、98.7%が就職し社会に貢献した。

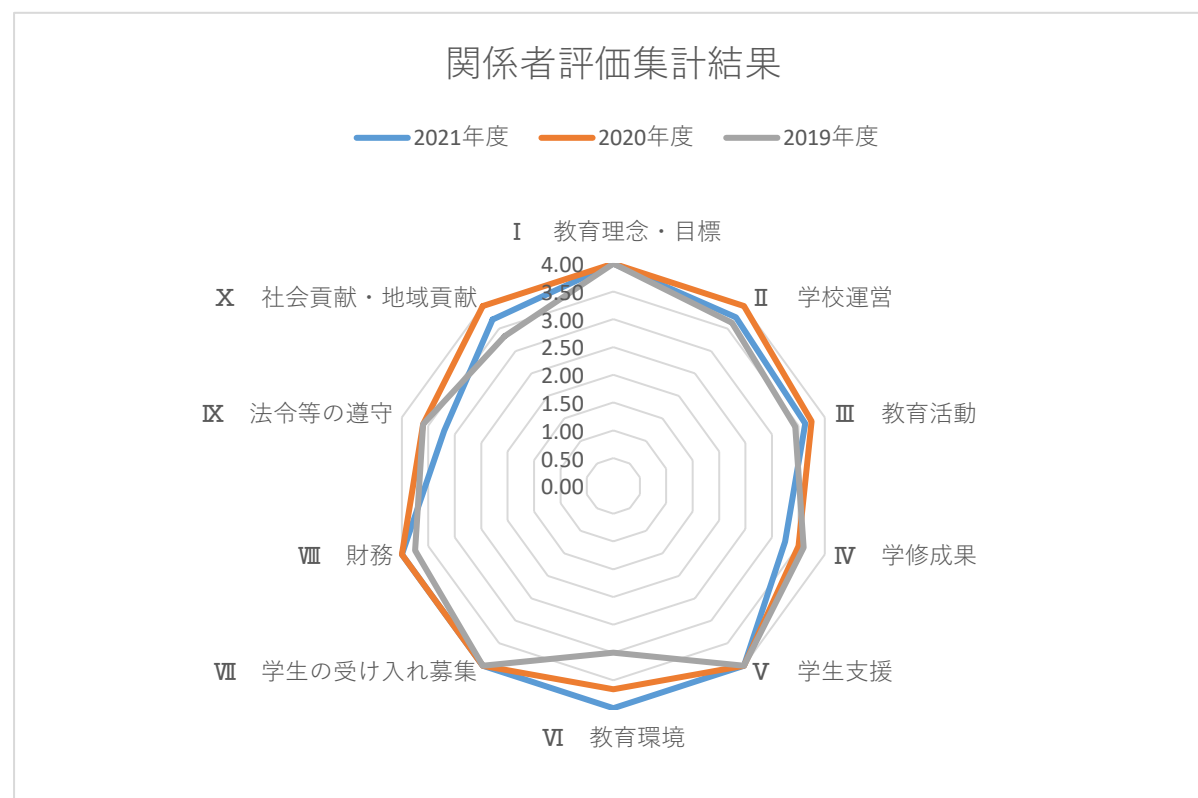
看護師国家試験の合格率は、全国平均以上の合格率となったが、新卒者平均合格率までは至らなかった。

自己点検・自己評価については、学校評価システムは構築したが、一部の教員による中間・最終評価の実施となり、

前年度同様、全身体制で取り組むことができなかった。次年度は閉校年度となるため、在校生全員が卒業でき、

看護師国家試験の全員合格をめざして教育活動を行うこととする。

項目	2021年度	2020年度	2019年度
I 教育理念・目標	4.00	4.00	4.00
II 学校運営	3.75	4.00	3.63
III 教育活動	3.63	3.75	3.44
IV 学修成果	3.25	3.50	3.60
V 学生支援	4.00	4.00	4.00
VI 教育環境	4.00	3.66	3.00
VII 学生の受け入れ募集	4.00	4.00	4.00
VIII 財務	4.00	4.00	3.75
IX 法令等の遵守	3.20	3.60	3.60
X 社会貢献・地域貢献	3.70	4.00	3.33
XI 国際交流	-	2.50	2.50
平均	3.75	3.73	3.53



評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

	2021年度 自己評価	2021年度 学校関係者評価
I. 教育理念・目標	4.00	4.00
	適切な教育環境実現のために物的資源の整備ならびに人的資源の確保を行い教育体制の向上を図る。	教育理念・目的・育成人材像が明確にされており、学生、保護者にも周知されている。ホームページ上に掲載されているため保護者にも確認できるようになっている。ホームページを探すのが大変であり、専門学校の方から入ると削除されているため大学のホームページから専門学校に入るのを探すのが大変であった。
II. 学校運営	3.75	3.75
	教育活動等に関する情報公開を適時更新できていない部分がある。	コロナ下ではあるが運営会議が定期的に行われ学校運営について意思統一をされている様子がうかがえる。自己評価にホームページの掲載について適宜更新されていないということなので学生の状況等をホームページに掲載することで学校の周知、保護者への情報提供などもできるのではないか。

III. 教育活動	3.63	3.63
	授業評価を講師に適時フィードバックできていない部分がある。教員が教育活動におけるモチベーションを維持・向上できるような学会および研修の機会を確保する必要がある。	講師会議ができず、講師に授業評価をフィードバックできていないという点については学生の状況を伝えるためにもフィードバックできるよう努力をお願いしたい。学会・研修など自分の時間ではなく教育活動の一環として時間の確保をお願いしたい。
IV. 学修成果	3.25	3.25
	卒業生の病院就職率は98.7%、看護師国家試験の合格率は92.2%の結果をふまえ、国家試験対策の強化と関連施設と連携し、卒業生の支援を行い学修成果を見極めキャリア形成に関わっていく必要がある。退学者については、丁寧な指導の結果進路変更となった。	年々、就職試験も早くなり早いうちでのキャリア支援が必要となってきたが支援態勢が整えられ早いうちでの就職が内定している。また、国家試験の支援もされており全国平均を上回ったことは評価できる。
V. 学生支援	3.90	4.00
	教科外活動の企画・運営を学生・教員共同で計画的に関わる必要がある。	コロナ禍という状況ではあるが感染予防対策をし、できる限りの学習活動がされている。コロナ禍でも引き続きカウンセリングでの学生支援をお願いしたい。また、次年度が閉校になるため学生が卒業できないことがない様にフォローをお願いしたい。
VI. 教育環境	3.33	4.00
	大学学部生との合同防災訓練の実施はできなかった。専門学校独自で防災対策演習を実施した。	IT環境、シミュレーターの購入等整備され学習環境が整っている。また、大学との避難訓練は実施されていないが専門学校独自での避難訓練が実施され学生への安全対策が施行されている。
VII. 学生の受け入れ募集	4.00	4.00
	募集停止のため特になし	閉校の為学生募集は行っていないが学生生活にかかる費用については明確に学生に提示している。
VIII. 財務	4.00	4.00
	現状の維持向上を図る。	財務・経営情報をホームページに掲載されており明確化されている。
IX. 法令等の遵守	3.20	3.20
	個人情報保護対策の徹底指導がとれていない部分がある。自己点検自己評価システムを機能していない部分がある。	自己点検・自己評価について教員を巻き込んで行われると問題が明確化し、解決策もよりよいものが出てくるのではないかと。
X. 社会貢献・地域貢献	3.67	3.70
	コロナ禍でのボランティア活動の支援まで至っていない。	コロナ禍でもできるボランティア活動（ペットボトルを集めてワクチンを贈る、ユニセフ募金など）を学生と考えられるとよいのではないかと。
XI. 国際交流	—	—
	評価該当外	評価該当外
平均	3.67	3.75

【関係者評価総評】

評価平均：3.75

1. 評価結果から昨年と比べ、平均ポイントが上昇している。卒業生の満足度調査結果から教員が学生に身近な存在であることが伺える。国家試験合格率上昇対策をさらに強化し合格率が上昇することを期待する。

2. 卒業生を輩出し社会に貢献している。次年度に向けて卒業生の支援体制を計画していることは良い。

3. 次年度は、大学生と専門学校生による合同教科外活動が成功するように計画されることを期待する。

【評価対象期間】

自：2021年4月1日

至：2022年3月31日

【学校関係者評価委員】

○長谷川 幸恵 さいたま市立高等看護学院 学院長

○野上 美華子 柏たなか病院 看護部長

○五十嵐 和人 千葉・柏リハビリテーション病院 事務長